

大学院看護学研究科修士課程
平成 28 年度後期 学生による授業評価（アンケート調査）について

本学では、授業改善に役立てることを目的として、看護学研究科修士課程において平成 22（2010）年度から各専任教員が担当する講義科目のうち 1 科目での学生による授業評価を開始し、平成 26（2014）年度からは、専任教員が担当する講義科目のうちで、原則履修者数 5 名以上の科目で実施してまいりました。

平成 28（2016）年度からは対象科目を拡大し、全講義科目において学生による授業評価を実施しています。また、各科目での集計結果に基づき、各教員は科目ごとに今後の授業改善に向けた取組みについて「改善点、対応等について」を提出し、本学内専用ホームページから学生へフィードバックを行います。

つきましては、平成 28 年度後期に授業評価を実施した科目及び全体の集計結果を公表いたします。

日本赤十字看護大学 FD・SD委員会

平成28年度大学院看護学研究科修士課程
授業評価実施科目一覧(後期)

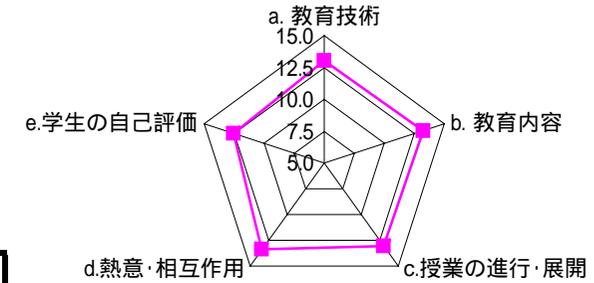
No.	コード	講義名称	科目責任者	共同担当者	履修者数	専攻
1	M00102	基礎看護学特講Ⅱ	高田 早苗	川原 由佳里	3	看護学専攻
2	M00104	基礎看護学特講Ⅳ	川原 由佳里	高田 早苗・石原 美和	2	看護学専攻
3	M00202	がん看護学特講Ⅱ	守田 美奈子	大西 秀樹・濱口 恵子	4	看護学専攻
4	M00204	がん看護学特講Ⅳ	守田 美奈子	吉田 みつ子・遠藤 公久	4	看護学専攻
5	M00205	がん看護学特講Ⅴ	吉田 みつ子	茅根 義和・小笠原 利枝	4	看護学専攻
6	M00303	小児看護学特講Ⅲ	江本 リナ	関根 弘子	3	看護学専攻
7	M00401	成人看護学特講Ⅰ	本庄 恵子		3	看護学専攻
8	M00503	クリティカルケア看護学特講Ⅲ	和田 美也子	本庄 恵子・梅田 亜矢	1	看護学専攻
9	M00504	クリティカルケア看護学特講Ⅳ	和田 美也子	本庄 恵子・梅田 亜矢	1	看護学専攻
10	M00603	慢性看護学特講Ⅲ	下村 裕子	東 めぐみ	4	看護学専攻
11	M00604	慢性看護学特講Ⅳ	本庄 恵子	田中 孝美・下村 裕子・関根 光枝	3	看護学専攻
12	M00703	老年看護学特講Ⅲ	千葉 京子		2	看護学専攻
13	M00704	老年看護学特講Ⅳ	坂口 千鶴		2	看護学専攻
14	M00803	精神保健看護学特講Ⅲ	小宮 敬子		9	看護学専攻
15	M00903	地域看護学特講Ⅲ	藤田 淳子	澤井 美奈子・秋山 正子	2	看護学専攻
16	M01003	看護教育学特講Ⅲ	西田 朋子		5	看護学専攻
17	M01004	看護教育学特講Ⅳ	佐々木 幾美		3	看護学専攻
18	M01005	看護教育学特講Ⅴ	佐々木 幾美	西田 朋子	5	看護学専攻
19	M01006	看護教育学特講Ⅵ	佐々木 幾美		4	看護学専攻
20	M01102 M01332 N00306	看護管理学特講Ⅱ 看護政策論	安部 陽子		9	看護学 国際保健助産学専攻
21	M01104	看護管理学特講Ⅳ	鶴田 恵子	荒井 耕・阪口 博政	2	看護学専攻
22	M01106	病院管理論	鶴田 恵子	筧 淳夫	5	看護学専攻
23	M01216	災害看護学特講Ⅱ	小原 真理子	亀井 縁	1	看護学専攻
24	M01218	災害看護学特講Ⅳ	小原 真理子	井上 忠男・永井 幸寿	1	看護学専攻
25	M01314	英語講読Ⅱ	佐藤 眞		4	看護学専攻
26	M01316	看護科学特講	筒井 真優美		8	看護学専攻
27	M01323	学生理解	遠藤 公久		5	看護学専攻
28	M01328 N00305	看護理論	川原 由佳里		18	看護学 国際保健助産学専攻
29	M01330 N00307	コンサルテーション論	堀井 湖浪	鷹野 朋実・古城門 靖子・赤沢 雪路	18	看護学 国際保健助産学専攻
30	M01331	看護倫理	高田 早苗	吉田 みつ子	27	看護学専攻
31	M01335	臨床薬理学	石田 耕太	植松 和子・江本 リナ・坂口 千鶴・川名 るり・堀井 湖浪	16	看護学専攻
32	N00102	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション研究論	井村 真澄	齋藤 英子・新田 真弓	6	国際保健助産学専攻
33	N00103	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション活動論	井村 真澄		17	国際保健助産学専攻
34	N00202	国際保健助産論Ⅱ	水野 真希		7	国際保健助産学専攻
35	N00203	国際保健助産論Ⅲ	井村 真澄		14	国際保健助産学専攻
36	N00404	基礎助産学特講Ⅱ-2	小林 丈人		11	国際保健助産学専攻
37	N00462	応用助産学特講Ⅱ	喜多 里己		11	国際保健助産学専攻

授業(大学院)評価結果(2016年度全体)

履修者数	646	回収数	543	回収率	84.1%
------	-----	-----	-----	-----	-------

科目:
担当者:

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	543	13.02	1.85	543	13.02	1.85
b. 教育内容	542	13.23	1.84	542	13.23	1.84
c. 授業の進行・展開	543	13.05	1.85	543	13.05	1.85
d. 熱意・相互作用	541	13.40	1.84	541	13.40	1.84
e. 学生の自己評価	539	12.55	1.99	539	12.55	1.99



N=543

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

教員が提示した文献・資料などは学習を促進するのに役立った。	237	265	34	6	1	0	4.35	0.66
教員の説明や発問、意見交換の促し方/ファシリテートの仕方は適切だった。	258	236	39	9	1	0	4.36	0.70
課題提示の方法は適切だった。	234	251	50	8	0	0	4.31	0.70

b. 教育内容

授業の水準や範囲は大学院の授業として適切であった。	230	255	43	10	3	2	4.28	0.78
この分野に関する概念や新しい知識、考え方など理解を深めることができた。	298	218	23	4	0	0	4.49	0.62
授業に参加してより興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	291	212	35	5	0	0	4.45	0.66

c. 授業の進行・展開

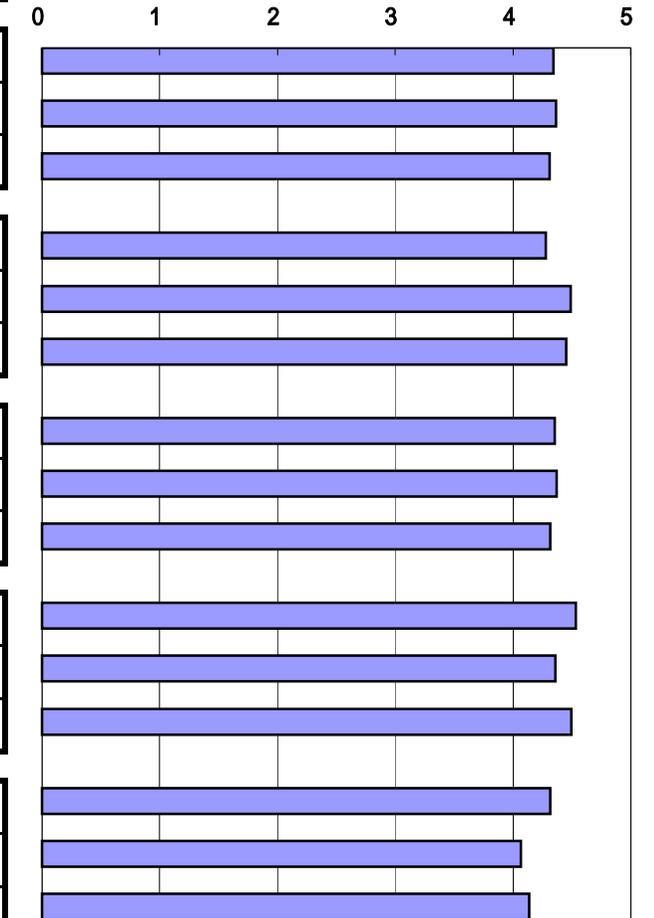
授業を受ける上での重要な情報はシラバス、その他配付資料等で示されていた。	244	256	36	6	1	0	4.36	0.67
授業はシラバスの趣旨と内容に沿って展開されていた。	248	256	33	5	1	0	4.37	0.66
授業の進行速度は適切だった。	243	245	44	7	4	0	4.32	0.74

d. 熱意・相互作用

教員の熱意が伝わってきた。	324	189	26	4	0	0	4.53	0.62
教員は大学院生間の議論、学習への取り組み等を刺激するような関わりをしていた。	272	208	51	11	0	1	4.36	0.76
教員は大学院生の反応や意見に適切に対応した。	315	195	28	1	0	4	4.50	0.72

e. 学生の自己評価

私は授業に意欲的/主体的・積極的に取り組んだ。	234	257	44	6	1	1	4.31	0.71
私は他の大学院生の学習を刺激するような意見交換ができた。	189	230	104	15	2	3	4.07	0.88
私は担当以外の内容について、事前学習・事後学習をして取り組んだ。	189	252	90	11	1	0	4.14	0.77



総合評価

総合的に判断して、この授業は満足できるものであった。	271	224	41	4	1	2	4.39	0.73
----------------------------	-----	-----	----	---	---	---	------	------

■強くそう思う ■そう思う □どちらともいえない □そうは思わない ■全くそうは思わない □不明

